

◇ ◇ 受賞候補者募集等 ◇ ◇

—2022 年度（第 54 回）倉田奨励金—

- 助成対象 (1) 日本国内の大学及びその附属研究施設，研究機関，高等専門学校に所属する研究者（株式会社に所属する研究者は除く）を対象とし公募制とする．大学院生の応募可．
- (2) 所属機関長（総長・学長，研究科長，学部長，理事長，研究所長，直属の上長等）の推薦書を必要とする．推薦の数に制限はない．
- (3) 国籍は問わない．ただし日本国内に居住し，研究期間終了まで国内に継続した研究拠点を有する見込みの方に限る．
- (4) 自然科学・工学研究部門：募集年度 4 月 1 日現在の年齢が 45 歳以下であること．  
人文・社会科学研究部門：年齢制限無し．

助成部門

- ・自然科学・工学研究部門 国際的な視野で社会課題の解決に資する，若手研究者（45 歳以下）による独創的，先駆的な研究．募集は(1)エネルギー・環境(2)都市・交通(3)健康・医療 3 分野とする．また，共通して自然科学・工学研究の観点による文理融合研究も対象とする．
- ・人文・社会科学研究部門 科学技術の進歩がもたらす社会の変容，その背景に潜む複合的な諸問題を人文・社会科学の視点（社会，文化，文学，歴史，哲学，倫理，法律，経済等）から読み解き，科学技術の発展の意味や価値と社会のあり方を探究する研究．

助成金額

- ・自然科学・工学研究部門 (1 年) 100 万円程度／件，(2 年) 300 万円程度／件 研究期間は申請時に選択
- ・人文・社会科学研究部門 80 万円～100 万円程度／件 研究期間は 1 年

- 採択件数 ・自然科学・工学研究部門 (1 年) 30 件程度／年，(2 年) 5 件程度／年  
・人文・社会科学研究部門 10 件程度／年

応募方法 電子申請による公募．応募要項，申請書類を申請方法のページからダウンロードし，専用フォームで登録・申請して下さい．（郵送不可）

応募締切 2022 年 9 月 15 日（木）必着

問合せ先 日立財団「倉田奨励金」事務局

TEL [03] 5221-6677, FAX [03] 5221-6680

kurata@hdq.hitachi.co.jp

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/kurata/index.html>

—第 26 回（令和 4 年度）丸文財団研究業績表彰，研究交流助成—

対象技術分野 原則として以下のエレクトロニクス関連分野を表彰対象とします．

- ①集積エレクトロニクス及び情報システム応用，②光エレクトロニクス，③先端デバイス・材料及びシステム，④エネルギー・環境エレクトロニクス，⑤バイオ・医用エレクトロニクス

研究業績表彰

- ・丸文学術賞 1 件
- ・丸文研究奨励賞 3 件

交流助成

- ・交流研究助成 日本国内の大学，国公立研究所などの研究機関が，研究交流を目的として海外から受け入れる外国人研究者，もしくは海外へ派遣する日本人研究者の研究費等，または将来，交流研究，共同研究に発展すると期待される研究活動に従事する国内外の留学生の研究費等の助成（上限 150 万円，12 件程度）．

応募資格

- ・大学または公的研究機関に属すること．
- ・大学院または若手研究者であること（国籍不問）．

・応募時に所属長の推薦が得られること。

応募締切 2022年10月28日（金）必着

問合せ先 丸文財団

TEL [03] 3661-1881, FAX [03] 3808-2959

marubun.zaidan@mrpf.or.jp <https://www.marubun-zaidan.jp>

——第15回（2022年度）宇宙科学奨励賞——

趣旨 宇宙理学（飛翔体を用いた観測，探査，実験に関連する理学研究）分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い，宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績を挙げた若手研究者個人を顕彰する。

候補者 上記分野で優れた業績を挙げた37歳以下（当該年度の4月1日現在）の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

賞の内容 宇宙理学関係1名，宇宙工学関係1名。本賞（賞状と表彰楯）及び副賞（30万円）。

推薦締切日 2022年10月31日（月）必着

推薦方法 推薦に当たっては当財団のHP（<http://www.spss.or.jp>）より推薦書式をダウンロードし，必要事項を記入の上，必要な添付書類とともに期日までに当財団事務局宛てに提出のこと。

問合せ先 宇宙科学振興会 事務局 TEL [042] 751-1126, [admin@spss.or.jp](mailto:admin@spss.or.jp)